Nikon

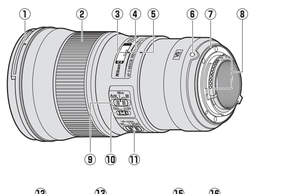
NIKKOR

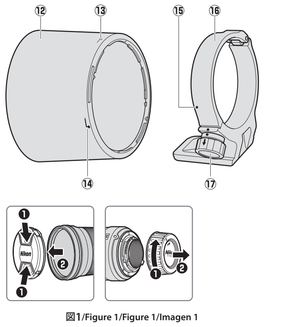
AF-S NIKKOR 300mm f/4E PF ED VR

Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Es Manual del usuario
Sc 使用说明书
Pb Manual do usuário
Kr 사용설명서

Printed in China
SB2D05(C)
7MA0167C-05 △

NIKON CORPORATION





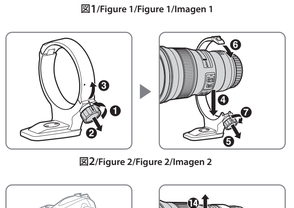


図1/Figure 1/Figure 1/Imagen 1

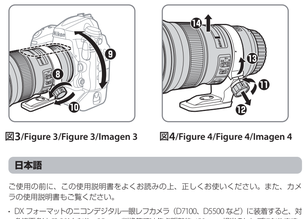


図2/Figure 2/Figure 2/Imagen 2

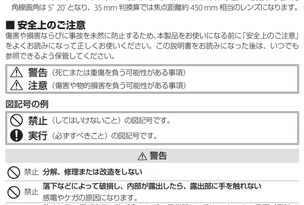


図3/Figure 3/Figure 3/Imagen 3

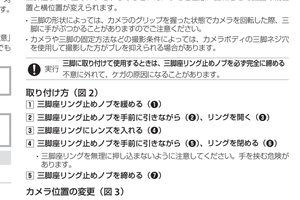


図4/Figure 4/Figure 4/Imagen 4

日本語

ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、カメラの使用説明書もご覧ください。

- DX フォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ（D7100、D5500 など）に装着すると、対角画角は 5° 20′ となり、35 mm 判換算では焦点距離約 450 mm 相当のレンズになります。

■ 安全上のご注意

傷害や損害ならびに事故を未然に防止するため、本製品をお使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みになってご正しくお使いください。この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるよう保管してください。

⚠ 警告（死亡または重傷を負う可能性が高い事項）
⚠ 注意（傷害や物的損害を負う可能性が高い事項）

図記号の例

🛇 禁止（してはいけないこと）の図記号です。
❗ 実行（必ずすべきこと）の図記号です。

⚠ 警告

🛇 禁止 **分解、修理または改造をしない**

🛇 禁止 **濡れるなどによって破損し、内部が露出したら、露出部に手を触れない**
感電やケガの原因になります。
熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常時は、直ちにカメラの電源（電池やACアダプター）を取り外す
❗ 実行 放置すると、発火、やけどの原因になります。
電源を取り外すまで、やけどに充分注意してください。
ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水でぬらさない
🛇 禁止 **ぬれた手でさわらない**
感電や発火の原因になります。
引火・爆発のおそれのある場所では使わない
🛇 禁止 プロパンガス、ガソリンスタンドなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、発火や爆発の原因になります。
🛇 禁止 **レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ない**
失明や視力障害の原因になります。

⚠ 注意

🛇 禁止 **幼児の手の届くところに置かない**
ケガや故障の原因になります。
逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらす
❗ 実行 **使わないときは、レンズキャップをけがるか、太陽光のあたらない所に保管する**
太陽光が焦点を結び、発火の原因になります。
高温になる場所（直射の当たる所、車の中など）に放置しない
🛇 禁止 **ハンカチやタオルなどで包んで使わない**
故障や発火の原因になります。

■ 各部の名称（図 1）

① フード着脱指標
② フォーカスリング
③ 距離目盛
④ 距離目盛基準線
⑤ レンズ回転位置指標
⑥ レンズ着脱指標
⑦ レンズマウントゴムリング
⑧ CPU 信号接点
⑨ フォーカスモード切り換えスイッチ
⑩ 三脚座リング *
⑪ CPU 信号接点
⑫ フォーカス制限切り換えスイッチ
⑬ 三脚座リング *
⑭ フォーカスモード切り換えスイッチ
⑮ 手ブレ補正スイッチ
⑯ フード
⑰ フードセット指標
⑱ フード取り付け指標
⑲ 位置指標（90°）*
⑳ 三脚座リング *
㉑ 三脚座リング止めノブ *

■ 使用できるカメラ

このレンズは、次のカメラで使用できます。

D4 シリーズ、D3 シリーズ、Df、D810、D800 シリーズ、D750、D700、D610、D600、D300 シリーズ、D7100、D7000、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、D3300、D3200、D3100

- 使用可能なカメラに関する最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどで確認ください。

■ ピント合わせの方法

撮影目的によって、下表のようなピント合わせが選択できます。
- カメラのフォーカスモードについては、カメラの使用説明書をご覧ください。

カメラのフォーカスモード	レンズのフォーカスモード		
	A/M	A/M	M
AF	オート優先オートフォーカス	マニュアル優先オートフォーカス	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）
MF	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）		

M/A（マニュアル優先オートフォーカスモード）と A/M（オート優先オートフォーカスモード）の使い方

M/A：フォーカスリングを回転させると、瞬時にマニュアルフォーカス撮影が行えます。
A/M：フォーカスリングを回転させても、瞬時にはマニュアルフォーカスに切り換わりません。オートフォーカスを優先させたい時にご使用ください。

1 **フォーカスモードを切り換えてください（M/A または A/M）にセットする**
2 **オートフォーカス撮影時、カメラのシャッターボタンを半押しした状態で、あるいはカメラの AF 作動（AF-ON）ボタンを保持したまま、フォーカスリングを手で回転させる**
・マニュアルフォーカス撮影が行えます。
・カメラのシャッターボタンの半押しや AF 作動（AF-ON）ボタンを再度操作するとオートフォーカス撮影が可能となります。

フォーカス制限切り換えスイッチの使い方

FULL：すべての撮影距離で使用します。
∞ — 3 m：撮影距離が常に 3 m 以上の場合にセットします。ピントあわせの時間を短縮できます。

■ 被写界深度

- プレビュー（絞りこみ）機構を持つカメラでは、撮影前にファインダー内で被写界深度を確認できます。
- 距離目盛は目安であり、被写体までの距離を保証するものではありませんので、また、遠景撮影でも被写界深度などの影響により∞マークに届かない位置でピントが合う場合があります。

■ 絞り値の設定

- 絞り値は、カメラ側で設定してください。
- 絞り値によっては、連続撮影速度が低下する場合があります。

■ カメラの内蔵フラッシュ使用時のご注意

クラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。

※カメラの内蔵フラッシュのクラレとは、フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、画像に映り込む現象です。

■ 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能を使用すると、使わないときと比べて 4.5 段（NORMAL モード使用時）"シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲が広がります。

※CIPA 規格準拠。ただし、FX フォーマット対応レンズは FX フォーマットデジタル一眼レフ使用時、DX レンズは DX フォーマットデジタル一眼レフ使用時、ズームレンズは最も望遠側で測定。

手ブレ補正スイッチの使い方

OFF：手ブレ補正をしません。
NORMAL：シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正を開始します。手ブレ補正効果が高く、静止している被写体を撮影する時などに適しています。
SPORT：シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正を開始します。スポーツなど動きの変化が激しい被写体を撮影する場合に適しています。

手ブレ補正使用時のご注意

- シャッターボタンを半押し後、ファインダー像が安定してから撮影することをおすすめします。
- 手ブレ補正の原理上、シャッター/リリース後にファインダー像がわずかに動くことがあります。異常ではありません。
- 流し撮りには、NORMAL モードと SPORT モードのどちらも対応していますが、SPORT モードにすることをおすすめします。
- NORMAL モードまたは SPORT モードで流し撮りなどをしてカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向のチブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りする際に、縦方向のチブレだけが補正されます。
- 手ブレ補正中にカメラの電源を OFF にしたり、レンズを取り外したりしないでください（その状態でレンズを振るとカタカタ音がすることがありますが、故障ではありません。カメラの電源スイッチを再度 ON にすれば、音は消えます）。
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュの充電中は、手ブレ補正は行いません。
- 三脚撮影時に NORMAL モードまたは SPORT モードにすると、三脚プレを軽減します。ただし、三脚の種類や撮影条件により、OFF にした方がよい場合があります。
- 一脚を使用するときは、NORMAL モードまたは SPORT モードにすることをおすすめします。

■ フードの使い方

画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護に役立ちます。

取り付け方

- フード着脱指標（●）とフード取り付け指標（▬）を合わせて（❶）、フードを矢印（❷）の方向に回転させ、フード着脱指標とフードセット指標（—○）を合わせてください（❸）。

- フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指標（▬）付近を持って回転させてください。
- フードが正しく取り付けられないと画像にケラレを生じますのでご注意ください。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。着脱の際は、フードセット指標（—○）付近を持って回転させてください。

■ 三脚座リング RT-1（別売）の使い方

三脚座リング止めノブをゆるめると、カメラごと任意に回転させて画面の縦位置と横位置が変えられます。

- 三脚の形状によっては、カメラのグリップを握った状態でカメラを回転した際、三脚ネジがぶつかることがありますのでご注意ください。
- カメラや三脚の固定方法などの撮影条件によっては、カメラボディの三脚ネジ穴を使用して撮影した方がブレを抑えられる場合があります。

❗ 実行 **三脚に取り付けて使用するときは、三脚座リング止めノブを必ず完全に締める**
不意に外れて、ケガの原因になることがあります。

取り付け方（図 2）

1 **三脚座リング止めノブを緩める（❶）**
2 **三脚座リング止めノブを手前に引きながら（❷）、リングを開く（❸）**
3 **三脚座リングにレンズを入れる（❹）**
4 **三脚座リング止めノブを手前に引きながら（❷）、リングを閉める（❺）**
三脚座リングを無理に押し込まないように注意してください。手を挟む危険があります。
5 **三脚座リング止めノブを締める（❻）**

カメラ位置の変更（図 3）

レンズの三脚座リング止めノブを緩め（❶）、カメラ位置（縦／横）に応じて位置指標を合わせ（❷）、三脚座リング止めノブを締めて固定します（❸）。

取り外し方（図 4）

1 **三脚座リング止めノブを緩める（❶）**
2 **三脚座リング止めノブを手前に引きながら（❶）、リングを開いて（❷）、レンズを取り外す（❸）**

■ レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- レンズをカメラから取り外すと、取付け開放状態になります。レンズ内部を保護するために、レンズキャップを取り付けるか、太陽光のあたらない所に保管してください。
- フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持ちたいようにさせない。
- CPU 信号接点は汚さないように注意ください。
- レンズマウントゴムリングが破損した場合は、そのまま使用せず販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- レンズ面の清掃は、ホコリを払う程度にしてください。
- 最前面のレンズ面はフッ素コート加工されています。軟いた布で軽く拭くだけで、汚れを取り除くことができます。指紋などの汚れがついたときは、柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーでレンズの中心から外周へ渦巻き状に、拭きムラ、拭き残しがないように注意して拭いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布を少量の真水、無水アルコール（エタノール）、または市販のレンズクリーナーで湿らせ、軽く拭き取ってください。フッ素コート加工されたレンズ面は、指紋性、撥油性が高いため、水滴状のほこり残りが出じることがあります。その場合は、軟いた布で拭き取ってください。
- 最後面（レンズマウント側）のレンズ面に指紋がついたときは、柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーを少量の無水アルコール（エタノール）または市販のレンズクリーナーで湿らせ、レンズの中心から外周へ渦巻き状に、拭きムラ、拭き残しがないように注意して拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、NC フィルターをお使いいただけます。また、レンズのフードも役立ちます。
- レンズをケースに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高湿多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。
- レンズをまくらにすると、部品がリビつくなどして故障の原因になりますのでご注意ください。
- ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。機械に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。
- 極端に湿度の高い場所に金属レンズを持ち込むと、レンズの内外に水滴が生じ、故障の原因となりますので、レンズをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の湿度になじませてからお使いください。

■ PF（位相フレネル）レンズについて

このレンズは、PF（Phase Fresnel：位相フレネル）レンズを採用したレンズです。PF レンズとは、ニコンが開発した光の回折現象*を利用して色収差を補正するレンズです。通常のガラスレンズの組み合わせによる色収差の補正能力が高く、光の回折現象を利用した一般的なカメラ用レンズよりも大幅な小型・軽量化を図ることが可能です が、画面内外に強い光源がある場合は画像に色つきのリング状のフレア（PF フレア）が写り込むことがあります。静止画に写り込んだ色つきのリング状のフレアは、Capture NX-D（ver.1.1.0 以降）に搭載の［**PF フレアコントロール**］を使って軽減することができます。詳細については、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。Capture NX-D は当社ホームページからダウンロードできます。ソフトウェアは必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。インターネットに接続できる環境をお持ちでない場合はニコンサービス機関にご相談ください。

［**PF フレアコントロール**］は静止画にのみ使用可能です。動画には使用できません。

*回折現象：光は波としての性質を持っています。波は障害物に出会ったときにその影の部分に回りこむ性質を持っております。これを回折と呼びます。回折には回折とは逆に色分散が発生する特徴があります。

■ 付属アクセサリー

- 77 mm スプリング式レンズキャップ LC-77
- パラネットフード HB-73
- 裏ぶた: LF-4
- レンズケース CL-M3

■ 使用できるアクセサリー

- 77 mm ネジ込み式フィルター
- 三脚座リング RT-1
- AF-I/AF-S テレコンバーター TC-14E/ TC-14E II / TC-14E III / TC-17E II */ TC-20E * / TC-20E II */ TC-20E III *
※オートフォーカスが F8 対応のカメラに装着してカメラの AF モードを AF-S にした場合のみ、オートフォーカス可

■ 仕様

型式	ニコン F マウント CPU 内蔵 E タイプ、AF-S レンズ
焦点距離	300 mm
最大口径比	1：4
レンズ構成	10 群 16 枚（ED レンズ 1 枚、PF（位相フレネル）レンズ 1 枚、ナノクリスタルコート）あり、フッ素コート加工
画角	8° 10′（FX フォーマットのデジタル一眼レフカメラ） 5° 20′（DX フォーマットのデジタル一眼レフカメラ）
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ピント合わせ	IF（ニコン内蔵）方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
撮影距離目盛	∞～ 1.4 m
最短撮影距離	撮像面から 1.4 m
絞り羽根枚数	9 枚（円形絞り）
絞り方式	電磁絞りによる自動絞り
絞りの範囲	（f/4 — 32
測光方式	開放測光
フォーカス制限切り換えスイッチ	FULL（∞～ 1.4 m）と∞～ 3 m の 2 段切り換え
アタッチメントサイズ	77 mm（P=0.75 mm）
寸法	約 89 mm（最大径）× 147.5 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで）
質量	約 755 g

※仕様、外観の一部を、改善のため予告なく変更することがあります。

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。
※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

ニコンプラザショールーム ナビダイヤル
0570-02-8080
ニコンプラザサービスセンター ナビダイヤル
0570-02-8060

- 音声ガイダンスにしたがってご利用ください。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におけてください。

ニコンプラザの所在地、営業時間などについては、下記URLをご覧ください。
https://www.nikon-image.com/support/showroom/

English

Before using this product, please carefully read both these instructions and the camera manual.

Note: When mounted on a DX-format digital single-lens reflex camera such as the D7100 or D5500, this lens has an angle of view of 5°20′ and a focal length equivalent to 450 mm (35 mm format).

For Your Safety

⚠ WARNINGS

- ***Do not disassemble or modify***. In the event of malfunction, the product should be repaired only by a qualified technician. Should the product break open as the result of a fall or other accident, avoid touching exposed parts. Failure to observe these precautions could result in electric shock or other injury.
- ***Turn the camera off immediately in the event of malfunction***. Should you notice smoke or an unusual smell coming from the equipment, immediately unplug the AC adapter and remove the camera battery, taking care to avoid burns. Continued operation could result in fire or injury. After removing the battery, take the equipment to a Nikon-authorized service center for inspection.
- ***Keep dry***. Do not expose the product to water or handle with wet hands. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.
- ***Do not use in the presence of flammable gas***. Operating the equipment at filling stations or in the presence of propane or other flammable gas or dust could result in explosion or fire.
- ***Do not look at the sun through the lens or the camera viewfinder***. Viewing the sun or other bright light source through the lens or viewfinder could cause permanent visual impairment.

⚠ CAUTIONS

- ***Keep out of reach of children***. Failure to observe this precaution could result in injury or product malfunction.
- ***Do not focus sunlight through the lens***. Sunlight focused through the lens could cause fire. When shooting backlit subjects keep the sun well out of the frame; if the lens will not be used for an extended period, replace the lens caps and store out of direct sunlight.
- ***Do not overheat***. Do not leave the product in locations exposed to extremely high temperatures, such as in an enclosed vehicle in direct sunlight, or wrap the product in a towel or handkerchief or otherwise cover the product while it is in use. Failure to observe these precautions could result in fire or product malfunction.

Notice for Customers in Canada

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Parts of the Lens (Figure 1)

① Lens hood mounting mark
② Focus ring
③ Focus distance indicator
④ Focus distance mark
⑤ Lens rotation index
⑥ Lens mounting mark
⑦ Rubber lens-mount gasket
⑧ CPU contacts
⑨ Focus-mode switch
⑩ Focus limit switch
⑪ Vibration reduction switch
⑫ Lens hood
⑬ Lens hood lock mark
⑭ Lens hood alignment mark
⑮ Position indices (90°)*
⑯ Tripod collar ring*
⑰ Tripod collar ring attachment knob*

* Optional.

■ Compatibility

This lens can be used with D4-series, D3-series, Df, D810, D800-series, D750, D700, D610, D600, D300-series, D7100, D7000, D5500, D5300, D5200, D5100, D5000, D3300, D3200, and D3100 cameras. For up-to-date information on compatible cameras, see our latest catalogs or visit the Nikon website for your area.

■ Focus

Supported focus modes are shown in the following table (for information on camera focus modes, see the camera manual).

Camera focus mode	Lens focus mode		
	A/M	M/A	M
AF	Autofocus with manual override (AF priority)	Autofocus with manual override (manual priority)	Manual focus with electronic rangefinder
MF	Manual focus with electronic rangefinder		

M/A and A/M Modes

- **M/A**: Autofocus can be over-ridden by rotating the lens focus ring.
- **A/M**: As above, except that the focus ring must be rotated farther before autofocus is over-ridden, preventing accidental changes to focus caused by unintended operation of the focus ring.

1 Slide the lens focus-mode switch to **A/M** or **M/A**.
2 Focus.
If desired, autofocus can be over-ridden by rotating the lens focus ring while the shutter-release button is pressed halfway (or, if the camera is equipped with an **AF-ON** button, while the **AF-ON** button is pressed). To refocus using autofocus, press the shutter-release button halfway or press the **AF-ON** button again.

The Focus Limit Switch

This switch determines the focus distance limits for autofocus.

- **FULL**: Select this option to use the entire focus range.
- **∞ – 3 m**: If your subject will always be at distance of at least 3 m (9.9 ft), select this option for faster focusing.

■ Depth of Field

If the camera offers depth-of-field preview (stop down), depth of field can be previewed in the viewfinder.

Note: *Note that the focus distance indicator is intended only as a guide and may not accurately show the distance to the subject and may, due to depth of field or other factors, not show ∞ when the camera is focused on a distant object.*

■ Aperture

Aperture is adjusted using camera controls. The frame rate may drop at some apertures.

■ Built-in Flash Units

When using the built-in flash on cameras equipped with a built-in flash unit, remove the lens hood to prevent vignetting (shadows created where the end of the lens obscures the built-in flash).

■ Vibration Reduction (VR)

Vibration reduction (VR) reduces blur caused by camera shake, allowing shutter speeds up to 4.5 stops slower than would otherwise be the case, increasing the range of shutter speeds available. The effects of VR on shutter speed are measured in NORMAL mode according to **C**amera and **I**maging **P**roducts **A**ssociation (CIPA) standards; FX-format lenses are measured using FX-format digital cameras, DX-format lenses using DX-format cameras. Zoom lenses are measured at maximum zoom.

Using the Vibration Reduction Switch

- **Select OFF** to turn vibration reduction off.
- **Select NORMAL** for enhanced vibration reduction when photographing stationary subjects. Vibration reduction takes effect when the shutter-release button is pressed halfway.
- **Select SPORT** when photographing athletes and other subjects that are moving rapidly and unpredictably. Vibration reduction takes effect when the shutter-release button is pressed halfway.

Using Vibration Reduction: Notes

- When using vibration reduction, press the shutter-release button halfway and wait for the image in the viewfinder to stabilize before pressing the shutter-release button the rest of the way down.
- When vibration reduction is active, the image in the viewfinder may be blurred after the shutter is released. This does not indicate a malfunction.
- **SPORT** is recommended for panning shots, although **NORMAL** is also supported.
- In **NORMAL** and **SPORT** modes, vibration reduction applies only to motion that is not part of a pan (if the camera is panned horizontally, for example, vibration reduction will be applied only to vertical shake).
- Do not turn the camera off or remove the lens while vibration reduction is in effect. If power to the lens is cut while vibration reduction is on, the lens may rattle when shaken. This is not a malfunction, and can be corrected by reattaching the lens and turning the camera on.
- If the camera is equipped with a built-in flash, vibration reduction will be disabled while the flash charges.
- **NORMAL** and **SPORT** vibration reduction can reduce blur when the camera is mounted on a tripod. **OFF** may however produce better results in some cases depending on the type of tripod and on shooting conditions.
- **NORMAL** and **SPORT** are recommended if the camera is mounted on a monopod.

■ The Lens Hood

The lens hoods protect the lens and block stray light that would otherwise cause flare or ghosting.

Attaching the Hood

Align the lens hood mounting mark (●) with the lens hood alignment mark (▬) and then rotate the hood (❶) until the ● mark is aligned with the lens hood lock mark (—○).

When attaching or removing the hood, hold it near the ▬ symbol on its base and avoid gripping it too tightly. Vignetting may occur if the hood is not correctly attached.
The hood can be reversed and mounted on the lens when not in use. When the hood is reversed, it can be attached and removed by rotating it while holding it near the lock mark (—○).

■ The Optional RT-1 Tripod Collar Ring

Loosen the tripod collar ring attachment knob to rotate the camera to the desired position and orient the display horizontally or vertically. Note that your hand may come into contact with the tripod if you rotate the camera while holding it by the handgrip. Depending on how the camera or tripod is attached, camera shake may be reduced by attaching the tripod to the camera tripod socket.

⚠ CAUTION

Fully tighten the tripod collar ring attachment knob when attaching tripod collar ring. Failure to observe this precaution could result in the tripod collar ring becoming detached from the lens, causing injury.

Attaching the Tripod Collar Ring (Figure 2)

1 Loosen the tripod collar ring attachment knob (**❶**).
2 Open the ring.
Pull the attachment knob toward you (**❷**) and open the ring (**❸**).
3 Place the lens in the ring (**❹**).
4 Close the ring.
Pull the attachment knob toward you (**❷**) and close the ring (**❺**). Do not use excessive force, as your hand could be caught in the ring.
5 Tighten the attachment knob (**❻**).

Positioning the Camera (Figure 3)

Loosen the attachment knob (**❶**), adjust the position indices to the desired vertical or horizontal orientation (**❷**), and then tighten the attachment knob (**❸**).

Removing the Tripod Collar Ring (Figure 4)

1 Loosen the attachment knob (**❶**).
2 Remove the ring.
Pulling the attachment knob toward you (**❷**), open (**❸**) and remove the lens (**❹**).

■ Lens Care

- The lens returns to maximum aperture when removed from the camera. To protect the interior of the lens, store it out of direct sunlight or replace the lens caps.
- Do not pick up or hold the lens or camera using only the lens hood.
- Keep the CPU contacts clean.
- Should the rubber lens-mount gasket be damaged, cease use immediately and take the lens to a Nikon-authorized service center for repair.
- Use a blower to remove dust and lint from the lens surfaces.
- The fluorine-coated front element can be cleaned simply by wiping it with a dry cloth. Fingerprints and other stains can be removed using a soft, clean cotton cloth or lens cleaning tissue; clean from the center outwards using a circular motion, taking care not to leave smears or touch the glass surface with your fingers. To remove stubborn stains, wipe gently using a soft cloth dampened with a small amount of distilled water, ethanol, or lens cleaner. Drop-shaped stains on the water- and oil-repellent fluorine-coated element can be removed with a dry cloth.
- To remove smudges and fingerprints from the rear lens element (the element at the mount end of the lens), apply a small amount of ethanol or lens cleaner to a soft, clean cotton cloth or lens-cleaning tissue and clean from the center outwards using a circular motion, taking care not to leave smears or touch the glass with your fingers.
- Never use organic solvents such as paint thinner or benzene to clean the lens.
- The lens hood or NC filters can be used to protect the front lens element.
- Attach the front and rear caps before placing the lens in its flexible pouch.
- If the lens will not be used for an extended period, store it in a cool, dry location to prevent mold and rust. Do not store in direct sunlight or with naphtha or camphor moth balls.
- Keep the lens dry. Rusting of the internal mechanism can cause irreparable damage.
- Leaving the lens in extremely hot locations could damage or warp parts made from reinforced plastic.
- Rapid changes in temperature may cause damaging condensation inside and outside the lens. Before taking the lens from a warm to a cold environment or vice versa, place it in a bag or plastic case to slow the change in temperature.

■ PF (Phase Fresnel) Lenses

This lens features a PF (Phase Fresnel) element, which reduces chromatic aberration using Nikon's own diffraction technique*. When used with standard glass elements, PF elements greatly reduce chromatic aberration, allowing lenses much smaller and lighter than their ordinary refraction-based equivalents. Lenses featuring PF elements are however prone to colored ring flare (PF flare) when a bright light source is in or near the frame. Colored ring flare in photographs can be reduced using the **PF Flare Control** option in Capture NX-D version 1.1.0 or later, which is available for download from the Nikon website (customers without Internet connections are encouraged to contact a Nikon-authorized service representative for assistance). Be sure to always use the latest version. **PF Flare Control** can be used only with photographs and is not available with movies; for more information, see online help.

* Diffraction: Light has the properties of a wave that bends around obstacles in its path in a phenomenon known as diffraction, which causes a pattern of chromatic dispersion opposite to that caused by refraction.

■ Supplied Accessories

- 77 mm snap-on Front Lens Cap LC-77
- Rear Lens Cap LF-4
- Bayonet Hood HB-73
- Lens Case CL-M3

■ Compatible Accessories

- 77 mm screw-on filters
- Tripod collar ring RT-1
- AF-I/AF-S Teleconverters TC-14E /TC-14E II /TC-14E III/TC-17E II* /TC-20E* / TC-20E II* /TC-20E III*
- Autofocus is available only with single-servo AF (AF-S) and then only when the lens is mounted on a camera that supports f/8.

■ Specifications

Type	Type E AF-S lens with built-in CPU and F mount
Focal length	300 mm
Maximum aperture	f/4
Lens construction	16 elements in 10 groups (including 1 ED lens element, 1 PF (**p**hase **F**resnel) lens element, and lens elements with Nano-Crystal or fluorine coatings)
Angle of view	• **Nikon FX-format D-SLR cameras**: 8° 10′ • **Nikon DX-format D-SLR cameras**: 5° 20′
Distance information	Output to camera
Focusing	Nikon **I**nternal **F**ocusing (IF) System with autofocus controlled by Silent Wave Motor and separate focus ring for manual focus
Vibration reduction	Lens shift using **v**oice **c**oil **m**otors (VCMs)
Focus distance indicator	1.4 m – ∞
Minimum focus distance	1.4 m (4.60 ft) from focal plane
Diaphragm blades	9 (rounded diaphragm opening)
Diaphragm	Automatic electronic aperture control
Aperture range	f/4 – 32
Metering	Full aperture
Focus limit switch	Two positions: FULL (∞ – 1.4 m) and ∞ – 3 m
Filter-attachment size	77 mm (P = 0.75 mm)
Dimensions	Approx. 89 mm diameter × 147.5 mm (distance from camera lens mount flange)
Weight	Approx. 755 g (1.7 lb)

Nikon reserves the right to change the specifications of the hardware described in this manual at any time and without prior notice.

Français

Avant d'utiliser cet objectif, veuillez lire attentivement ces instructions et le manuel de l'appareil photo.

Remarque : lorsqu'il est monté sur un reflex numérique de format DX, comme le D7100 ou le D5500, cet objectif a un angle de champ de 5° 20′ et une focale équivalente à 450 mm (format 24 × 36 mm).

Pour votre sécurité

⚠ AVERTISSEMENTS

- ***Ne démontez pas ou ne modifiez pas le produit***. En cas de dysfonctionnement, ce produit ne doit être réparé que par un technicien qualifié. Si ce produit se casse suite à une chute ou à un autre accident, évitez de toucher les parties exposées. Le non-respect de ces consignes de sécurité peut provoquer un choc électrique ou d'autres blessures.
- ***En cas de dysfonctionnement, mettez immédiatement l'appareil photo hors tension***. En cas d'apparition de fumée ou d'une odeur inhabituelle provenant du matériel, débranchez immédiatement l'adaptateur secteur et retirez l'accumulateur de l'appareil photo, en faisant attention de ne pas vous brûler. Continuer d'utiliser le matériel risque de provoquer un incendie ou des blessures. Une fois l'accumulateur retiré, apportez votre matériel à un centre Nikon agréé pour le faire contrôler.
- ***Gardez le produit au sec***. N'exposez pas ce produit à l'eau ou ne le manipulez pas avec les mains mouillées. Le non-respect de cette consigne de sécurité peut provoquer un incendie ou un choc électrique.
- ***N'utilisez pas le matériel en présence de gaz inflammables***. La manipulation du matériel dans des stations-service ou en présence de propane, d'autres gaz inflammables ou de poussière peut provoquer une explosion ou un incendie.
- ***Ne regardez pas le soleil à travers l'objectif ou le viseur de l'appareil photo***. L'observation du soleil ou de toute autre source lumineuse puissante à travers l'objectif ou le viseur peut provoquer des troubles irréversibles de la vision.

⚠ MISES EN GARDE

- ***Conservez hors de portée des enfants***. Le non-respect de cette consigne de sécurité peut provoquer des blessures ou le dysfonctionnement du produit.
- ***Ne focalisez pas les rayons du soleil à travers l'objectif***. Les rayons du soleil focalisés à travers l'objectif peuvent provoquer un incendie. Lorsque vous photographiez des sujets à contre-jour, maintenez le soleil loin du cadre ; si vous n'avez pas l'intention d'utiliser l'objectif avant longtemps, remettez en place ses bouchons et rangez-le à l'abri de la lumière directe du soleil.
- ***Ne surchauffez pas le produit***. Ne laissez pas ce produit dans des lieux exposés à des températures très élevées, comme dans une voiture fermée en plein soleil. N'emballez pas ce produit dans une serviette, un mouchoir ou ne le recouvrez pas de quelque manière que ce soit lorsque vous l'utilisez. Le non-respect de ces consignes de sécurité peut provoquer un incendie ou le dysfonctionnement du produit.

Avis pour les Clients au Canada

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Parties de l'objectif (Figure 1)

① Repère de montage du parasoleil
② Bague de mise au point
③ Indicateur de distance de mise au point
④ Repère de distance de mise au point
⑤ Repère de rotation de l'objectif
⑥ Repère de montage de l'objectif
⑦ Joint en caoutchouc de la monture d'objectif
⑧ Contacts du microprocesseur
⑨ Commutateur du mode de mise au point
⑩ Commutateur de la limite de mise au point
⑪ Commutateur de réduction de vibration
⑫ Parasoleil
⑬ Repère de verrouillage du parasoleil
⑭ Repère d'alignement du parasoleil
⑮ Repère de position (90°) *
⑯ Collier pour trépied *
⑰ Molette de fixation du collier pour trépied *

* Optionnel.

■ Compatibilité

Cet objectif peut être utilisé avec les appareils photo gamme D4, gamme D3, Df, D810, gamme D800, D750, D700, D610, D600, gamme D300, D7100, D7000, D5500, D5300, D5200, D5100, D5000, D3300, D3200 et D3100. Pour obtenir les informations les plus récentes sur les appareils photo compatibles, reportez-vous à nos dernières brochures ou consultez le site Web Nikon de votre région.

■ Mise au point

Les modes de mise au point pris en charge sont indiqués dans le tableau suivant (pour en savoir plus sur les modes de mise au point de l'appareil photo, consultez le manuel de ce dernier).

Mode de mise au point de l'appareil photo	Mode de mise au point de l'objectif		
	A/M	M/A	M
AF	Autofocus à priorité manuelle (priorité AF)	Autofocus à priorité manuelle (priorité manuelle)	Mise au point manuelle avec télémètre électronique
MF	Mise au point manuelle avec télémètre électronique		

Modes A/M et M/A

- **M/A** : l'autofocus peut être désactivé à l'aide de la bague de mise au point de l'objectif
- **A/M** : comme ci-dessus, sauf que la bague de mise au point doit être tournée davantage pour désactiver l

Nikon

NIKKOR

AF-S NIKKOR 300mm f/4E PF ED VR

Sc 使用说明书
Pb Manual do usuário
Kj 사용설명서
Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Es Manual del usuario

NIKON CORPORATION

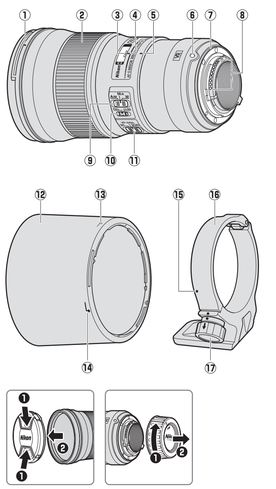


图1/Figura 1/古图1

图2/Figura 2/古图2

图3/Figura 3/古图3

图4/Figura 4/古图4

中文版（简体）

保留备用

使用产品前请仔细阅读本使用说明书。

在使用本产品前，请仔细阅读这些指南和照相机的说明书。

注意：当安装在一台 DX 格式数码单镜反光照相机（例如 D7100 或 D5500）上时，该镜头的视角为 5°20′ 且焦距相当于 450mm（35mm 格式）。

安全须知

为预防发生伤害、损失或其他事故，请在使用本产品前仔细阅读“安全须知”，并以正确的方法使用。请在阅读之后妥善保管本说明书，以便随时查阅。

警告（有可能造成人员死亡或负重伤的事项）

注意（有可能造成人身伤害或物品损害的事项）

图示和符号的实例

禁止（不允许进行的行为）符号。

执行（必须进行的行为）符号。

⚠ 警告

禁止 **切勿自行拆解、修理或改装。**

禁止 **当产品由于跌落而破损使得内部外露时，切勿用手触碰外露部分。**
否则将会导致触电或受伤。

当发现产品变热、冒烟或发出焦味等异常时，请立刻取出照相机中的电池或切断照相机电源（电源适配器）。
若放任不管，将会导致起火或烫伤。
取出电池或切断电源时，请小心勿被烫伤。
请委托尼康授权的维修服务中心进行修理。

切勿使产品被水淋湿。

禁止 **勿用湿手触碰。**
否则将导致触电或起火。

切勿在有可能起火、爆炸的场所使用。
在液化石油气站、汽油加油站等会产生易燃性气体、粉尘的场所使用产品，将会导致起火或爆炸。

禁止 **切勿使用镜头或照相机直接观看太阳或强光。**
否则将会导致失明或视觉损伤。

⚠ 注意

禁止 **切勿在婴幼儿伸手可及之处保管本产品。**
否则将会导致受伤或故障。

进行背光拍摄时，务必使太阳充分偏离视角。不使用时，请盖上镜头盖，或者存放在没有阳光照射处。
阳光会聚焦，并将导致起火。

切勿置于高温的地方（如夏天封闭的车内或直射阳光下）。

禁止 **切勿将产品用手帕或毛巾包裹着使用。**
否则将会导致故障或起火。

■ 镜头部件（图1）

① 镜头遮光罩安装标记
② 对焦环
③ 对焦距离指示
④ 对焦距离标记
⑤ 镜头旋转标记
⑥ 镜头安装标记
⑦ 镜头卡口橡胶垫圈
⑧ CPU 接点
⑨ 对焦模式切换器
⑩ 对焦限制切换器
⑪ 减震开关
⑫ 镜头遮光罩
⑬ 镜头遮光罩锁定标记
⑭ 镜头遮光罩对齐标记
⑮ 定位标记（90°）※
⑯ 三脚架固定座环※
⑰ 三脚架固定座环安装旋钮※

※另购。

■ 兼容性

本镜头适用于 D4 系列、D3 系列、Df、D810、D800 系列、D750、D700、D610、D600、D300 系列、D7100、D7000、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、D3300、D3200 和 D3100 系列。有关兼容照相机的最新信息，请参阅我们最新的产品目录或访问本地尼康网站。

■ 对焦

所支持的对焦模式如下表所示（有关照相机对焦模式的信息，请参阅照相机使用说明书）。

照相机对焦模式	镜头对焦模式		
	A/M	M/A	M
AF	手动优先的自动对焦（AF 优先）	手动优先的自动对焦（手动优先）	带有电子测距仪的手动对焦
MF	带有电子测距仪的手动对焦		

A/M 和 M/A 模式

- **M/A**：通过旋转镜头对焦环可使手动对焦优先于自动对焦。
- **A/M**：手动对焦优先于自动对焦之前必须继续旋转对焦环，从而防止因无意间操作对焦环而引起对焦意外改变，除此之外，其他与上述相同。

1 **将镜头对焦模式切换器推至 A/M 或 M 位置。**
2 **对焦。**
若有需要，您可在半按快门释放按钮期间（或者，若照相机配备有一个 **AF-ON** 按钮，则在按下 **AF-ON** 按钮期间）通过旋转镜头对焦环来使手动对焦优先于自动对焦。若要使用自动对焦以重新对焦，请再次半按快门释放按钮或再次按下 **AF-ON** 按钮。

对焦限制切换器

该切换器决定自动对焦的对焦距离极限值。

- **FULL**（全部）：选择该选项可使用整个对焦范围。
- **∞–3 m**：若拍摄对象总是位于至少 3 m 的距离处，选择该选项可获得更快的对焦。

■ 景深

若照相机支持景深预览（光圈缩小），景深可在取景器中进行预览。

注意：*对焦距离指示仅可作为指南，可能无法准确显示离拍摄对象的距离，并且由于景深或其他因素的影响，照相机对焦于远距离物体时可能不会显示∞。*

■ 光圈

请使用照相机控制调整光圈。在某些光圈下，每秒帧数可能会降低。

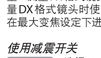
■ 内置闪光灯组件

当使用配备有一个内置闪光灯组件的照相机上的内置闪光灯时，请取下镜头遮光罩以避免产生渐晕（因镜头末端遮挡内置闪光灯光线所产生的阴影）。

■ 减震（VR）

减震（VR）可减少照相机震动所引起的模糊，从而使快门速度可比一般情况时最多降低 4.5 档，同时增加可用快门速度的范围。减震对快门速度的影响是在 **NORMAL**（标准）模式下根据相机影像器材工业协会（CIPA）标准所测量；测量 FX 格式数码单镜反光照相机时是 FX 格式数码照相机，测量 DX 格式数码单镜反光照相机时是 DX 格式照相机。变焦镜头是在最大变焦设定下进行的测量。

使用减震开关



- **选择 OFF（关闭）可关闭减震。**
- **选择 NORMAL（标准）**可在拍摄静止拍摄对象时增强减震。半按快门释放按钮时减震生效。
- **选择 SPORT（运动）**可拍摄运动员和其他正在进行迅速且不可预测运动的拍摄对象。半按快门释放按钮时减震生效。

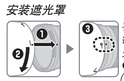
使用减震：注意事项

- 使用减震时，请先半按快门释放按钮，然后待取景器中的图像稳定之后再完全按下快门释放按钮。
- 启用减震时，取景器中的图像在您释放快门后可能会变得模糊。这并非故障。
- 转动照相机进行拍摄时推荐使用 **SPORT**（运动），但同时也支持 **NORMAL**（标准）。
- 在 **NORMAL**（标准）和 **SPORT**（运动）模式下，减震仅应用于非转动部分的动作（例如，若照相机进行水平转动，减震将仅应用于垂直方向的震动）。
- 减震处于有效状态时，请勿关闭照相机。也不要取下镜头。若在减震处于有效状态时切断镜头电源，镜头在摄动时将可能发出嘎嘎声。这并非故障，重新安装镜头并开启照相机即可解决该问题。
- 若照相机配备有内置闪光灯，闪光灯充电时减震将无法使用。
- **NORMAL**（标准）和 **SPORT**（运动）减震可在照相机固定于三脚架时减少摄影。但是根据三脚架类型和拍摄环境的不同，选择 **OFF**（关闭）可能会产生更好的效果。
- 照相机固定于单脚架时推荐使用 **NORMAL**（标准）和 **SPORT**（运动）。

■ 镜头遮光罩

镜头遮光罩可保护镜头并阻挡可能导致杂光或鬼影的散射光线。

安装遮光罩



将镜头遮光罩安装标记（●）与镜头遮光罩对齐标记（⌐）对齐，然后旋转遮光罩（❷）直至（●）标记与镜头遮光罩锁定标记（—○）对齐。

安装或取下遮光罩时，请在其底部的 ⌐ 标记附近将其握住，并避免握得太紧。若未正确安装好遮光罩，则可能会产生渐晕。

不使用时，可将遮光罩反转并固定在镜头上。遮光罩被反转时，在锁定标记（—○）附近将其握住，然后通过旋转即可安装或取下遮光罩。

■ 另购的 RT-1 三脚架固定座环

拧松三脚架固定座环安装旋钮可将照相机旋转至所需位置并可从垂直或水平方向调整画面。请注意，握住操作手柄旋转照相机时，您的手可能会触碰到三脚架。根据照相机或三脚架安装方式的不同，将三脚架安装在照相机三脚架连接孔上可能会减少照相机震动。

执行 **安装在三脚架上进行使用时，务必充分拧紧三脚架固定座环安装旋钮。**
否则可能导致三脚架固定座环从镜头松脱，从而导致受伤。

安装三脚架固定座环（图2）

1 **拧松三脚架固定座环安装旋钮（❶）。**
2 **打开固定环。**
朝外拉动安装旋钮（❷）并打开固定环（❸）。
3 **将镜头置于固定环中（❹）。**
4 **关闭固定环。**
朝外拉动安装旋钮（❺）并关闭固定环（❻）。切勿用力过度，因为您的手有可能被固定环夹住。
5 **拧紧安装旋钮（❼）。**

定位照相机（图3）

拧松安装旋钮（❽），将定位标记调整至所需的水平或垂直方向（❾），然后拧紧安装旋钮（❿）。

取出三脚架固定座环（图4）

1 **拧松安装旋钮（⓫）。**
2 **取下固定环。**
朝外拉动安装旋钮（⓬）。打开固定环（⓭）并取出镜头（⓮）。

■ 兼容的配件

- 77 mm 旋入式遮镜
- 三脚架固定座环 RT-1
- AF-I/AF-S 望远倍率镜 TC-14E/TC-14E II/TC-14E III/TC-17E II*/TC-20E*/TC-20E II*/TC-20E III*

※ 自动对焦仅适用于单次伺服 AF（AF-S）且仅当镜头安装于支持 f/8 的照相机上时可用。

■ 技术规格

类型	带内置 CPU 和 F 卡口的 E 型 AF-S 镜头
焦距	300 mm
最大光圈	f/4
镜头结构	10 组 16 片（包括 1 枚 ED 镜片组件、1 枚 PF（菲涅耳相位）镜片组件以及带纳米结晶涂层或氟涂层的镜片组件）
视角	• 尼康 FX 格式数码单镜反光照相机：8°10′ • 尼康 DX 格式数码单镜反光照相机：5°20′
距离信息	输出到照相机
对焦	尼康内部对焦（IF）系统（可进行由宁静波动马达控制的自动对焦，具备用于手动对焦的独立对焦环）
减震	使用音圈马达（VCM）的镜头位移
对焦距离指示	1.4 m – ∞
最近对焦距离	约 1.4 m（至焦平面）
光圈叶片	9 片（圆形光圈孔）
光圈	自动电子光圈控制
光圈范围	f/4 – 32
测光	全开光圈测光
对焦限制切换器	两段位置：FULL（全部）（∞ – 1.4 m）和 ∞ – 3 m
滤镜附件尺寸	77 mm（P = 0.75 mm）
尺寸	约 89 mm（最大直径）×147.5 mm（从照相机镜头卡口边缘开始的距离）
重量	约 755 g

尼康公司保留可随时更改说明书内载之硬件技术规格的权利，而无须事先通知。

进口商：尼康映像仪器销售（中国）有限公司
（上海市蒙自路 757 号 12 楼 01-07 室 邮编：200023）
尼康客户支持中心服务热线：400-820-1665
（周一至周日 9:00–18:00，除夕下午休息）
尼康官方网站：https://www.nikon.com.cn/

在中国印刷
出版日期：2022 年 4 月 1 日

产品中有害物质的名称及含量

标志	部件名称	有害物质					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
10	外壳	○	○	○	○	○	○
	机械元件	×	○	○	○	○	○
	光学元件	○	○	○	○	○	○
	电子元件	×	○	○	○	○	○

本表格依据 SJ/T11364 的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T26572 规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T26572 规定的限量要求。但是，以现有的技术条件要使照相机相关产品完全不含有上述有害物质极为困难，并且上述产品都包含在《关于电气电子设备中特定有害物质使用限制指令 2011/65/EU》的豁免范围之内。

Português (Brasil)

Antes de usar este produto, leia cuidadosamente estas instruções e o manual de referência da câmera.

Nota: quando fixada em uma câmera digital reflex de lente única de formato DX tal como a D7100 ou a D5500, esta lente tem um ângulo de visão de 5° 20′ e uma distância focal equivalente a 450 mm (formato 35 mm).

Para sua segurança

⚠ AVISOS

- ***Não desmonte nem modifique***. Em caso de mau funcionamento, o produto deve ser reparado apenas por um técnico qualificado. Caso o produto se parta e abra como resultado de uma queda ou outro acidente, evite tocar nas partes expostas. A não observância destas precauções poderá resultar em choque elétrico ou outras lesões.
- ***Desligue imediatamente o câmera em caso de mau funcionamento***. Caso você note fumaça ou um odor estranho vindo do equipamento, desligue imediatamente o adaptador AC e remova a bateria da câmera, tomando cuidado para evitar queimaduras. A continuação da operação pode resultar em incêndio ou lesões. Após remover a bateria, leve o equipamento a uma assistência técnica autorizada Nikon para inspeção.
- ***Mantenha seco***. Não exponha o produto à água nem manuseie com as mãos molhadas. A não observância desta precaução poderá resultar em incêndio ou choque elétrico.
- ***Não use na presença de gás inflamável***. Operar o equipamento em postos de abastecimento ou na presença de propano ou outros gases inflamáveis ou poeira poderá resultar em explosão ou incêndio.
- ***Não olhe para o sol através da lente ou do visor da câmera***. A observação do sol ou de outra fonte de luz intensa através da lente ou do visor pode causar incapacidade visual permanente.

⚠ PRECAUÇÕES

- ***Mantenha longe do alcance de crianças***. A não observância desta precaução poderá resultar em lesões ou mau funcionamento do produto.
- ***Não foque o raio do sol através da lente***. A luz solar focada através da lente poderá resultar em incêndio. Quando estiver fotografando assuntos em contraluz mantenha o sol bem fora do quadro. Se a lente não vai ser utilizada por um longo período de tempo, recomloque as tampas da lente e guarde longe da luz solar direta.
- ***Não superaqueça***. Não deixe o produto em locais expostos a temperaturas extremamente altas, tais como dentro de um veículo fechado sob a luz direta do sol, nem embrulhe o produto dentro de uma toalha ou lenço ou de outra forma o cubra enquanto o mesmo estiver em uso. A não observância destas precauções poderá resultar em incêndio ou mau funcionamento do produto.

Aviso para os Clientes no Canadá

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Partes da lente (Figura 1)

① Marca de montagem do parassol da lente
② Anel de foco
③ Indicador de distância focal
④ Marca de distância de foco
⑤ Índice de rotação da lente
⑥ Marca de montagem da lente
⑦ Gaxeta de borracha de fixação da lente
⑧ Contatos CPU
⑨ Chave de modo de foco
⑩ Chave de limite de foco
⑪ Chave de redução de vibração
⑫ Parassol da lente
⑬ Marca de trava do parassol da lente
⑭ Marca de alinhamento do parassol da lente
⑮ Índices de posição (90°)*
⑯ Anel de colar para tripé*
⑰ Botão de aperto do anel de colar para tripé*

* Opcional.

■ Compatibilidade

Esta lente pode ser usada com câmeras série D4, série D3, Df, D810, série D800, D750, D700, D610, D600, série D300, D7100, D7000, D5500, D5300, D5200, D5100, D5000, D3300, D3200 e D3100. Para informações atualizadas sobre as câmeras compatíveis, consulte os nossos últimos catálogos ou visite o site da Nikon.

■ Foco

Os modos de foco suportados são apresentados na tabela seguinte (para informação sobre os modos de foco da câmera, consulte o manual da câmera).

Modo de foco da câmera	Modo de foco da lente		
	A/M	M/A	M
AF	Foco automático com preferência para ajuste manual (prioridade AF)	Foco automático com preferência para ajuste manual (prioridade manual)	Foco manual com telemetria eletrônica
MF	Foco manual com telemetria eletrônica		

Modos A/M e M/A

- **M/A**: o foco automático pode ser ignorado girando o anel de foco da lente.
- **A/M**: como acima, exceto que o anel de foco tem que ser rodado ainda mais antes do foco automático ser ignorado, evitando alterações acidentais à focagem causadas por operação não intencional do anel de foco.

1 Deslize a chave do modo de foco da lente para **A/M** ou **M/A**.
2 Foque.
Se desejado, o foco automático pode ser cancelado girando o anel de foco da lente enquanto o botão de liberação do obturador é pressionado até a metade (ou, se a câmera estiver equipada com um botão **AF-ON**, enquanto o botão **AF-ON** for pressionado). Para focar novamente usando o foco automático, pressione o botão de liberação do obturador até a metade ou pressione novamente o botão **AF-ON**.

Chave de limite de foco

Esta chave determina os limites de distância de foco para o foco automático.

- **FULL**: selecione esta opção para todo o alcance de foco.
- **∞–3 m**: se o seu assunto estiver a uma distância de pelo menos 3 m, selecione esta opção para um foco mais rápido.

■ Profundidade de campo

Se a câmera oferecer visualização da profundidade de campo (stop down), a profundidade de campo pode ser visualizada no visor.

Nota: *observe que o indicador de distância de foco serve apenas como um guia e pode não mostrar com precisão a distância do assunto e pode, devido à profundidade de campo ou outros fatores, não mostrar ∞ quando a câmera estiver focada em um objeto distante.*

■ Abertura

A abertura é ajustada usando os controles da câmera. A velocidade de captura de quadros poderá baixar em algumas aberturas.

■ Unidades de flash embutidas

Quando utilizar o flash embutido de uma câmeras retire o parassol da lente para evitar vinhetas (sombras criadas onde a extremidade da lente obscurece o flash embutido).

■ Redução de vibração (VR)

A redução de vibração (VR) diminui o efeito de desfoque causado pela trepidação da câmera, permitindo velocidades do obturador até 4,5 pontos mais lentas do que seria no caso contrário, aumentando a faixa de velocidades de obturador disponíveis. Os efeitos da velocidade do obturador ligado VR são medidos em modo NORMAL de acordo com os padrões da Câmera and Imaging Products Association (CIPA). As lentes de formato FX são medidas usando câmeras digitais de formato FX, as lentes de formato DX usando câmeras de formato DX. As lentes de zoom são medidas com o zoom ao máximo.

Utilização da chave de redução de vibração

- **Selecione OFF** para desativar a redução de vibração.
- **Selecione NORMAL** para melhor redução de vibração ao fotografar assuntos parados. A redução de vibração tem efeito quando o botão de liberação do obturador for pressionado até a metade.
- **Selecione SPORT** quando fotografar atletas e outros assuntos que estejam se movendo rapidamente e de forma imprevisível. A redução de vibração tem efeito quando o botão de liberação do obturador for pressionado até a metade.

Utilização da redução de vibração: notas

- Quando utilizar a redução de vibração, pressione o botão de liberação do obturador até a metade e espere que a imagem no visor estabilize antes de pressionar o botão de liberação do obturador até o fim.
- Quando a redução de vibração estiver ativa, a imagem no visor poderá aparecer desfocada depois de o obturador ser disparado. Isto não indica um mau funcionamento.
- **SPORT** é recomendado para fotos panorâmicas, embora **NORMAL** também seja suportado.
- Nos modos **NORMAL** e **SPORT**, a redução de vibração aplica-se apenas ao movimento que não faz parte da panorâmica (se a câmera fizer uma panorâmica horizontal, por exemplo, a redução de vibração será aplicada apenas à trepidação vertical).
- Não desligue a câmera nem remova a lente enquanto a redução de vibração estiver em vigor. Se a alimentação da lente for interrompida enquanto a redução de vibração estiver ligada, a lente poderá chocalhar quando agitada. Isto não é um mau funcionamento, e pode ser corrigido reinstalando a lente e ligando a câmera.
- Se a câmera estiver equipada com um flash embutido, a redução de vibração será desativada enquanto o flash carrega.
- A redução de vibração **NORMAL** e **SPORT** pode reduzir o desfoque quando a câmera estiver montada em um tripé. **OFF** poderá no entanto produzir melhores resultados em alguns casos dependendo do tipo de tripé e das condições de disparo.
- **NORMAL** e **SPORT** são recomendados se a câmera estiver montada em um monopé.

■ Parassol

O parassol protege a lente e bloqueia a luz difusa que de outra forma causaria refração ou fantasmas.

Acoplar o parassol

Alinhe a marca de fixação do parassol da lente (●) com a marca de alinhamento do parassol da lente (⌐) e depois gire o parassol (❷) até a marca ● ficar alinhada com a marca de trava do parassol da lente (—○).

Ao acoplar ou remover o parassol, segure-o perto do símbolo ⌐ na sua base e evite apertá-lo com força. Poderá ocorrer vinheta se o parassol não for corretamente acoplado.

O parassol pode ser revertido e montado na lente quando não estiver sendo utilizado. Quando o parassol estiver revertido, ele pode ser montado e removido girando-o enquanto o segura perto da marca de trava (—○).

■ Anel de colar para tripé RT-1 (opcional)

Desaperte o botão de acoplamento do anel do tripé para girar a câmera para a posição desejada e oriente a tela horizontal ou verticalmente. Note que a sua mão poderá tocar no tripé se girar a câmera segurando-a pela empunhadura. Dependendo de como a câmera ou o tripé estiverem acoplados, a trepidação da câmera poderá ser reduzida acoplando o tripé ao soquete de tripé da câmera.

⚠ CUIDADO

Aperte completamente o botão de aperto do anel de colar para tripé quando instalar o anel de colar para tripé. A não observância dessa precaução poderá resultar que o anel de colar para tripé se desprenda da lente, provocando ferimentos.

Instalar o anel de colar para tripé (Figura 2)

1 Desaperte o botão de aperto do anel de colar para tripé (❶).
2 Abra o anel.
Puxe o botão de aperto para si (❷) e abra o anel (❸).
3 Coloque a lente no anel (❹).
4 Feche o anel.
Puxe o botão de aperto para si (❺) e feche o anel (❻). Não use força excessiva, pois sua mão poderá ficar presa no anel.
5 Aperte o botão de aperto (❼).

Posicionar a câmera (Figura 3)

Desaperte o botão de aperto (❽), ajuste os índices de posição para a orientação vertical ou horizontal desejada (❾), e depois aperte o botão de aperto (❿).

Remover o anel de colar para tripé (Figura 4)

1 Desaperte o botão de aperto (⓫).
2 Remova o anel.
Puxando o botão de aperto para si (⓬), abra (⓭) e remova a lente (⓮).

■ Cuidados com a lente

- A lente retorna para a abertura máxima quando removida da câmera. Para proteger o interior da lente, guarde-a afastada da luz solar direta ou recoloque as tampas da lente.
- Não levante ou segure a lente ou a câmera usando apenas o parassol da lente.
- Mantenha limpos os contatos CPU.
- Caso a gaxeta de borracha de fixação da lente seja danificada, interrompa imediatamente a utilização e leve a lente a uma assistência técnica autorizada Nikon para reparação.
- Use um soprador para remover poeira e sujidade das superfícies da lente.
- O elemento dianteiro revestido de flúor pode ser limpo simplesmente esfregando-o com um pano seco. Impressões digitais e outras manchas podem ser removidas usando um pano de algodão macio e limpo ou tecido de limpeza de lentes. Limpe do centro para fora num movimento circular, tomando cuidado para não deixar manchas ou tocar no vidro com os seus dedos. Para remover manchas persistentes, limpe cuidadosamente com um pano macio umedecido em uma pequena quantidade de água destilada, etanol ou produto de limpeza de lente. As manchas com formato de gotas sobre o elemento revestido com flúor repelente de água e de óleo podem ser removidas com um pano seco.
- Para remover manchas e impressões digitais das superfícies do elemento traseiro da lente (o elemento na extremidade de montagem da lente), aplique uma pequena quantidade de etanol ou limpador de lente em um pano de algodão macio e limpo ou um tecido de limpeza de lentes e limpe a partir do centro para fora, num movimento circular, tomando cuidado para não deixar manchas ou tocar no vidro com os dedos.
- Nunca use solventes orgânicos tais como tiner ou benzeno para limpar a lente.
- O parassol da lente ou os filtros NC podem ser usados para proteger o elemento frontal da lente.
- Monte as tampas dianteira e traseira antes de colocar a lente na sua bolsa flexível.
- Se a lente não vai ser usada por um longo período, guarde-a em um local fresco e seco para evitar mofo e ferrugem. Não guarde sob a luz solar direta nem com bolas de naftalina e de cânfora.
- Mantenha a lente seca. O enferrujamento do mecanismo interno pode causar danos irreparáveis.
- Deixar a lente em locais extremamente quentes pode danificar ou deformar partes feitas de plástico reforçado.
- Mudanças bruscas de temperatura podem causar condensação potencialmente danosa dentro e fora da lente. Antes de transportar a lente de um ambiente quente para um ambiente frio ou vice-versa, coloque-a no seu estojo ou um saco plástico para retardar a mudança de temperatura.

■ Lentes PF (Phase Fresnel)

Esta lente dispõe de um elemento PF (Phase Fresnel), que reduz a aberração cromática utilizando a técnica de difração exclusiva da Nikon*. Quando usados com elementos de vidro padrão, os elementos PF reduzirão muito a aberração cromática, conseguindo-se lentes muito menores e mais leves do que seus equivalentes comuns baseados em refração. No entanto, as lentes com elementos PF têm tendência a apresentar refração de anéis coloridos (refração PF) quando uma fonte de luz intensa estiver dentro ou próxima do enquadramento. Os anéis de refração coloridos em fotografias poderão ser reduzidos usando a opção **Controle de refração PF** no Capture NX-D versão 1.1.0 ou posterior, que está disponível para download nos sites da Nikon (os clientes que não possuam conexões de internet poderão entrar em contato com um representante de assistência técnica autorizada Nikon para assistência). Assegure-se de usar sempre a última versão. O **Controle de refração PF** pode ser usado apenas para fotografias e não está disponível para vídeos. Para obter mais informações, entre em contato com a Nikon do Brasil.

* Difração: a luz tem as propriedades de uma onda que se curva em torno de obstáculos em seu caminho num fenômeno chamado difração, o que provoca um padrão de dispersão cromática oposta à causada pela refração.

■ Acessórios fornecidos

- Tampa frontal de encaixe da lente com 77 mm LC-77
- Tampa traseira da lente LF-4
- Parassol de baioneta HB-73
- Estojo de lente CL-M3

■ Acessórios compatíveis

- Filtros de rosca de 77 mm
- Anel de colar para tripé RT-1
- Teleconversores AF-I/AF-S TC-14E /TC-14E II /TC-14E III /TC-17E II*/TC-20E*/TC-20E*II /TC-20E III*

* O foco automático está disponível somente com AF de servo único (AF-S) e então apenas quando a lente estiver fixada numa câmera compatível com f/8.

■ Especificações

Tipo	Lente AF-S tipo E com CPU embutido e encaixe F
Distância focal	300 mm
Abertura máxima	f/4
Construção da lente	16 elementos em 10 grupos (incluindo 1 elemento de lente ED, 1 elemento de lente PF (phase Fresnel) e elementos de lente com revestimento de nanocristais ou de flúor)
Ângulo de visão	• Câmeras Nikon D-SLR de formato FX: 8° 10′ • Câmeras Nikon D-SLR de formato DX: 5° 20′
Informação de distância	Saída para a câmera
Focagem	Sistema Interna Focusing (IF - focagem Interna) da Nikon com foco automático controlado por Motor de Onda Silencioso (SWM) e anel de foco separado para foco manual
Redução de vibração	Estabilizador da lente usando voice coil motors (VCMs)
Indicador de distância de foco	1,4 m – ∞
Distância mínima de foco	1,4 m a partir do plano focal
Lâminas de diafragma	9 (abertura circular do diafragma)
Diafragma	Controle de abertura automático eletrônico
Faixa de abertura	f/4 – 32
Fotometria	Abertura total
Chave de limite de foco	Duas posições: FULL (∞ – 1,4 m) e ∞ – 3 m
Tamanho da rosca do filtro	77 mm (P = 0,75 mm)
Dimensões	Aprox. 89 mm de diâmetro máximo × 147,5 mm (distância do flange de montagem da lente da câmera)
Peso	Aprox. 755 g

A Nikon reserva-se o direito de alterar as especificações do hardware descrito neste manual a qualquer momento e sem aviso prévio.

한국어

이 제품을 사용하기 전에 이 설명서와 카메라 설명서를 모두 주의 깊게 읽어주십시오.

주의: D71000나 D5500 같은 DX 포맷 디지털 일안 리플렉스 카메라에 장착될 때, 이 렌즈는 5° 20′의 화각과 450mm(35mm 포맷)에 상응하는 초점 거리를 가집니다.

안전상의 주의 사항

상해나 손해 및 사고를 미연에 방지하기 위해, 본 제품을 사용하시기 전에 '안전을 위한 주의사항'을 잘 읽고 바르게 사용해 주세요. 본 설명서를 읽으신 후에는 언제든지 참조할 수 있도록 잘 보관해 주세요.

⚠ 경고（사망 또는 중상을 초래할 수 있는 사항）

⚠ 주의（상해나 물적 손해를 초래할 수 있는 사항）

그림 기호의 예

금지（해서는 안 되는 것）의 그림기호입니다.

실행（반드시 해야하는 것）의 그림기호입니다.

⚠ 경고

금지 **분해, 수리 또는 개조를 하지 않는다.**

금지 **낙하 등에 의해 파손되어 내부가 노출되면 노출부에 손을 대지 않는다.**
감전이나 부상의 원인이 됩니다.

금지 **뜨거워지거나, 연기가 나거나, 탄 냄새가 나는 등의 이상 시에는 즉시 카메라의 전원(전자나 AC 어댑터)을 분리한다.**

실행 방치하면 발화, 화상의 원인이 됩니다.
전원을 분리할 때, 화상에 충분히 주의해 주세요.
니콘 서비스 기관에 수리를 의뢰해 주세요.

금지 **물에 닿지 않게 한다.**
젖은 손으로 만지지 않는다.
감전이나 발화의 원인이 됩니다.

금지 **인화 및 폭발 위험이 있는 곳에서는 사용하지 않는다.**
프로판 가스, 주유소 등의 인화성 가스나 분진이 발생하는 곳에서 사용하면 발화나 폭발의 원인이 됩니다.

금지 **렌즈 또는 카메라로 직접 태양이나 강한 빛을 보지 않는다.**
실명이나 시력장애의 원인이 됩니다.

⚠ 주의

금지 **유아의 손이 닿는 곳에 두지 않는다.**
부상이나 고장의 원인이 됩니다.

실행 **액광 촬영 시에는 태양을 화각으로부터 충분히 비켜나게 한다.**
사용하지 않을 때는 렌즈 캡을 장착하거나, 태양광이 닿지 않는 곳에 보관한다.
태양광이 초점을 맺어 발화의 원인이 됩니다.

금지 **고온이 되는 곳(여름철 자내나 직사광선이 닿는 곳)에 방치하지 않는다.**
손수건이나 타올 등으로 써서 사용하지 않는다.
고장이나 발화의 원인이 됩니다.

■ 렌즈의 부품(그림1)

① 렌즈 후드 장착 마크
② 초점 링
③ 초점 거리 표시
④ 초점 거리 마크
⑤ 렌즈 회전 지표
⑥ 렌즈 장착 마크
⑦ 렌즈 장착 고무 패킹
⑧ CPU 접촉부
⑨ 초점 모드 스위치
⑩ 초점 제한 스위치
⑪ 손떨림 보정 스위치
⑫ 렌즈 후드
⑬ 렌즈 후드 잠금 마크
⑭ 렌즈 후드 정렬 마크
⑮ 위치 인덱스(90°）*
⑯ 삼각대 이음 고리*
⑰ 삼각대 이음 고리 장착 손잡이*

* 별매품

■ 호환성

이 렌즈는 D4 시리즈, D3 시리즈, Df, D810, D800 시리즈, D750, D700, D610, D600, D300 시리즈, D7100, D7000, D5500, D5300, D5200, D5100, D5000, D3300, D3200, D3100 카메라와 함께 사용할 수 있습니다. 호환 카메라에 대한 최신 정보는 당사 카탈로그를 참고하거나 해당 국가별 Nikon 웹 사이트를 방문하시기 바랍니다.

■ 초점

지원되는 초점 모드는 다음 표에 기재되어 있습니다(카메라 초점 모드에 관한 내용은 카메라 설명서 참조).

카메라 초점 모드	렌즈 초점 모드		
	A/M	M/A	M
AF	자동 초점에서 수동 초점 (AF 우선)	자동 초점에서 수동 초점 (수동 우선)	초점 에이드를 사용한 수동 초점
MF	초점 에이드를 사용한 수동 초점		

A/M 및 M/A 모드

- **M/A**: 렌즈 초점링을 돌려 자동 초점을 중단시킬 수 있습니다.
- **A/M**: 의도하지 않게 초점링을 건드려서 초점이 실수로 변경되는 것을 방지하기 위해, 위와 같으며, 자동 초점이 중단되기 전에 초점링을 좀 더 돌려서 의도하지 않게 초점링을 건드려서 초점이 실수로 변경되는 일이 없도록 합니다.

1 **렌즈 초점 모드 스위치를 A/M이나 M/A로 밉니다.**
2 **초점을 맞춥니다.**
원할 경우, 셔터 버튼을 반누름한 상태에서(또는, 카메라에 **AF-ON** 버튼이 있는 경우 **AF-ON** 버튼을 누른 상태에서) 렌즈 초점 링을 돌려 자동 초점이 설정되지 않도록 할 수 있습니다. 자동 초점을 사용하여 다시 초점을 맞추려면 셔터 버튼을 반누름하거나 **AF-ON** 버튼을 다시 누릅니다.

초점 제한 스위치

이 스위치는 자동 초점 시 초점 거리를 제한합니다.

- **FULL**(전체): 초점 범위를 모두 사용하려면 이 옵션을 선택합니다.
- **∞–3m**: 피사체가 항상 적어도 3 m 내에 위치한 경우 초점을 빠르게 맞추려면 이 옵션을 선택합니다.

■ 피사계 심도

카메라가 심도 프리뷰(스탑다운)를 제공하면, 뷰파인더에서 피사계 심도를 미리 볼 수 있습니다.

주의: *초점 거리 표시는 참고만을 위한 것이며 실제로 피사체까지의 거리를 나타내는 것이 아닐 수 있습니다. 카메라가 먼 대상에 초점을 맞추었을 때 피사계 심도나 다른 요인에 의해 ∞이 나타나지 않을 수 있습니다.*

■ 조리개

카메라의 커맨드다이얼을 사용하여 조리개를 조절합니다. 일부 조리개에서 프레임 수가 떨어질 수 있습니다.

■ 내장 플래시

내장 플래시 장치가 설치된 카메라에 있는 내장 플래시를 사용할 경우 바네팅(렌즈 앞단이 내장 플래시를 어둡게 하여 발생하는 그늘)이 발생하지 않도록 렌즈 후드를 제거합니다.

■ 손떨림 보정(VR)

손떨림 보정(VR)은 셔터 속도를 최대 4.5 스탑까지 느리게 하며 사용할 수 있는 셔터 속도의 범위를 늘려줌으로써 카메라 흔들림으로 초래된 흔들림 현상을 줄여줍니다. 셔터 속도에 V